

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第 60 号 (H28.8.28)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 本格的な夏もすぎようとしていますね。今年は、南米初となるブラジル、リオオリンピックが開催され寝不足だったという方も多いのではないのでしょうか。日本選手はもちろんですが、ザンビア選手団も開会式の写真のとおり (賛助会員の方からいただきました) 7名の選手が参加し頑張ったようです。

その一方、暑さと共に台風が関東、東北、北海道に上陸し各地で災害が発生したとのこと、皆さん被害に遭われていないことをお祈りします。また今、10号が本州に向かっていくとのこと、被害の無いことを願うばかりです。

さて今回は、8月の現地での活動状況を芦田さんからの報告でお伝えしますとともに、以前巡回診療に同行した三重大医学生さんからの報告をお届けします。



### 現地活動報告 (芦田 様より)

#### ◎8月3日ムワンタヤ地区

同行者：ムレタさん、シツンベコさん、チブリカさん、シバンダさん

患者数：109人 主な症状：下痢、頭痛、目の問題、咳等、 ・重篤なケース：なし  
マラリア検査数 37人うち陽性0人、

\*車両整備： ボックス 3141： 帰路、チサンバの手前で左前輪の内側、ボールを留めている箱状の金具のボルトが折れ、タイヤが斜めになってしまい、通常の走行が不可能になる。とりあえずマーケットでワイヤを購入し、応急処置をして低速で24時過ぎにルサカにもどったとのこと。修理としては、折れたボルトの交換に加え、箱状のものが外れた影響で、中にあるベアリング、外側のブレーキにつながるパイプ等が破損したのでそれらの交換も必要な状況。

#### ◎8月8日ルアノ地区 (選挙の関係で10日予定を変更)

同行者：ムレタさん、チブリカさん、シバンダさん

患者数：59人 主な症状：下痢7人、頭痛、熱、咳10人等 ・マラリア検査数 42人うち陽性7人、  
重篤なケース：7歳の男の子が、木から落ちて手首を損傷。ひどく腫れているので、リテタにてX線検査をすべくリファーしようとしたが、服を取りに行かせたところ戻って来なかった。自転車で家まで呼びに行ったが、誰もおらず、あきらめて引き上げた。ボランティアがフォローアップ予定。

\*車両整備： ボックス 3141： 先週お伝えした修理は完了。今週は新規の問題なし。

### ◎8月17日ニャンカンガ地区

同行者：ムレタさん、プリスカさん、チブリカさん、シバンダさん

患者数：156人 主な症状：下痢、咳、STI等、 重篤なケース： なし

マラリア検査数 56人うち陽性4人、

\*ニャンカンガの井戸のフェンス設置：1基のみ完了していたため、次回の訪問時にもう1基が完了していない場合は、井戸を使えないようにロックするとのことです。

\*車両整備： ボックス 3141： 前回の左前輪の修理に関連してブレーキのホースも交換しましたが、ブレーキシステム内に空気がたまっていて、左のブレーキがかからない状態であったため、中にある空気を取り除きました。昨日の診療にはエレファントを使用。

エレファント 582： エンジンオイルの補充実施。

\*来週の訪問者受け入れの打ち合わせ等

学生さんともやり取りをしながら、テンボさんとアレンジを行いました。

\*選挙関連では、落選側(UPND)が選挙結果に不正があったと憲法裁判所に異議申し立てを来週早々までに行う予定ですが、それまでは特に問題は無いと思われます。ただ、市内各地に武装警察が立って警戒しており、少し緊張感があります。

### ◎8月24日ルアノ地区

同行者：ムレタさん、プリスカさん、チブリカさん、シバンダさん、ダンさん（臨時運転手）、

患者数：76人 主な症状：下痢17人、咳30人、HIV陽性2人、目、犬による咬傷1名等

マラリア検査数 13人うち陽性13人、

重篤なケース： なし 妊婦の搬送1件

\*阪大医学生4名が同行：テンボさんによると、検査や受付など手分けしてお手伝いをしてくれ、皆さんフレンドリーで良かったとのことです。途中パンクがあり、帰りが20時前になったようです。本日彼らと食事をした人の話では、ルアノまでの道のりは想像以上につらかったと話していたようです。

\*車両整備： ボックス 3141： ①ラジエーターにつき、今度は別の箇所（前面）に亀裂が起こったため、溶接を実施しました。②24日の帰路に、ぐらつきを感じたため本日チェックしたところ、ボールジョイントの交換が必要なようです。

エレファント 582： パンクの修理を行う予定。

### ザンビア巡回診療に同行して(三重大学医学部学生さんの報告)

三重大学医学部6年生の岡崎貴大と申します。同行させて頂いた感想を書きましたので、写真を添付してお送りいたします。

先日はルアノ地区のモバイルクリニックに同行させて頂き誠にありがとうございました。日本では出来ないような得難い体験をさせて頂きました。ルアノ地区での活動に同行してまずは交通の不便さに驚きました。干上がった川底のような道を何時間もかけて行くとは思いませんでした。交通面だけでなく、費用や人材、コミュニティーとの協力をどう得るかなど少しだけ見学させていただいた中でも様々な問題があると思いました。特に気になったのが支援を漫然と受けるだけの姿勢の人もいることを伺った事です。実際にマラリ





アで子供の命が危機に晒されている状態で、ただ貰うだけの様な人もいる事が信じられません。ザンビアの状況は決して良いものではありません。ヘルスセンターのレベルでさえ十分な薬が届かず、山元先生の NGO に頼っていた状況には歪さを感じます。山元先生の活動はただ上から物を与えていくだけでなく、共に成長する事を求めるものであると思いました。その活動を通じて少しずつ状況が変化するのはではないと思いました。

短い間でしたが、大変お世話になりました。先生はお身体に気を付けて下さい。モバイルクリニックに行く前には是非しっかりお肉を食べてくださいね。ありがとうございました。(岡崎貴大)

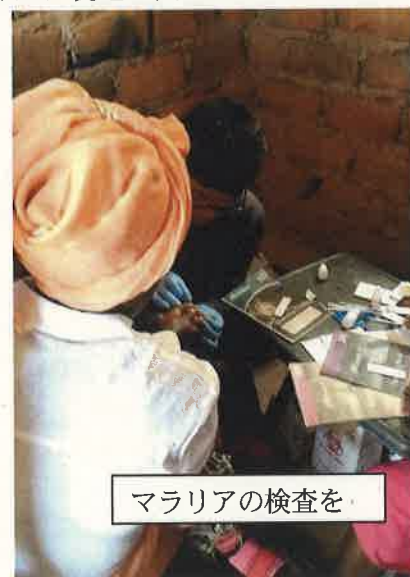
三重大学6年大城恵吾と申します。昨日はサタデーマーケットにも連れて行っていただきありがとうございました。感想を送らせていただきます。

先日はルアノ地区への医療活動に同行させていただきありがとうございました。

実際に同行する前にはどういった診療を先生が行っていて、どういった疾患が多いのかなどに興味がありました。しかし、ルアノ地区への往路での道のりからモバイルクリニックのメインとなるのは医療だけではないということに気づかされました。

現地で診察を行うまでには、処方薬や検査キットの準備などに加え、現地に向かうための交通手段やカルテ照合、バイタル測定、現地語の通訳、机や椅子の準備など様々な段階を経てようやく診察が可能となります。そのため医師だけでは何もすることができず、多くの方の協力があってはじめて医療活動が成立していると実感することができました。実際の医療活動ではそれぞれ役割分担がきちりとなされており、効率的に診察が行われていると感じました。このように医療活動が出来るようになるまでには多くの努力があり、また、様々な方を上手く巻き込み皆が協力してくれているのは山元先生の理念に共感し、信頼しているからだと思いました。皆に気を配り、時には厳しく叱咤し、全体をマネジメントする能力が秀逸であると感じました。今回の経験を通して、将来医師として働く際には医療行為だけでなく山元先生のように多くの方を巻き込み職種を超えたチーム医療を行えるように努力していきたいと思えます。

今回は日本には経験することのできない、人種・文化を超えた活動に参加させていただき改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。(大城恵吾)



以上

◎どうぞ今後ともご支援のほどよろしく申し上げます